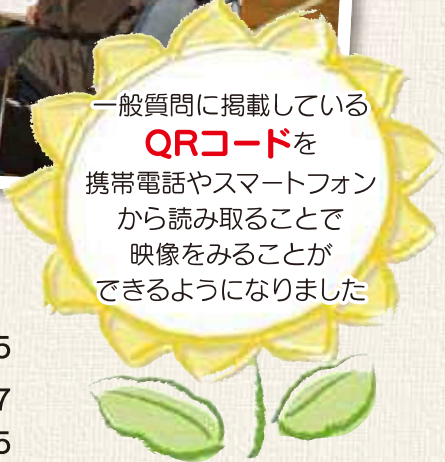


# 議会だより



一般質問に掲載している  
**QRコード**を  
携帯電話やスマートフォン  
から読み取ること  
で映像をみるこ  
とができるよう  
になりました

## 主な内容

- ・特集 議会報告会開催報告 ..... 2~5
- ・平成27年12月定例会 ..... 6~7
- ・一般質問 (11人) ..... 10~15

# 議会報告会開催報告

## 市民に身近な議会へ

11月に4つのコミュニティセンターにおいて、議会報告会を開催しました。

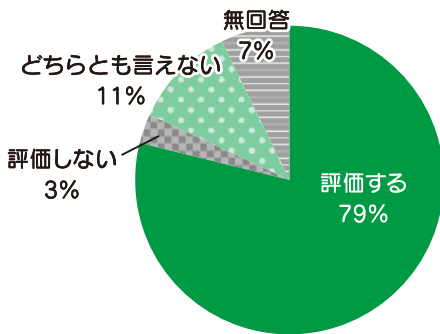
今年は、議員による委員会報告に加え、議員と市民が直接話し合う場として初めて意見交換会に取り組みました。

報告会でのアンケート結果や意見交換会における参加者の声の一部をご紹介します。

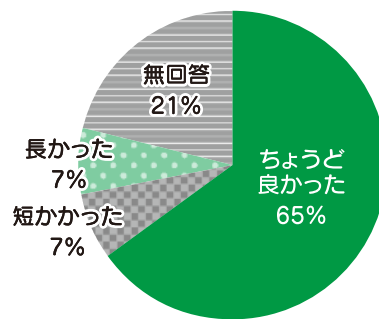
※参加者164人のうち、アンケート回答者146人（回収率89%）

### ～アンケート結果～

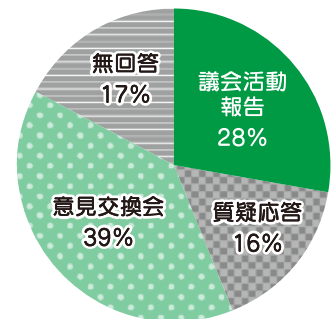
◆報告会の取組



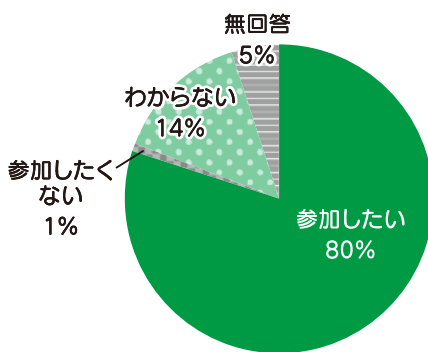
◆開催時間の長さ



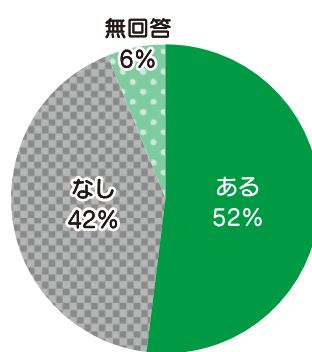
◆良かった内容



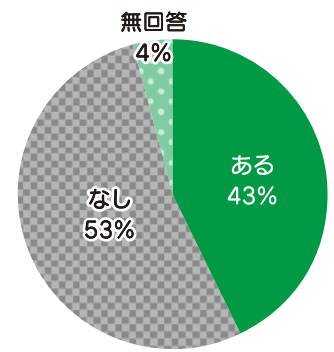
◆今後も参加したいか



◆議会ホームページをみたことがあるか



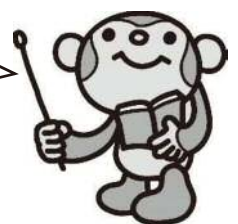
◆議会の傍聴に行ったことがあるか



意見交換会の様子

ホームページにも掲載しています。

大野城市議会  
ホームページ



特集が掲載されて、ずいぶん面白くなった。

文字を大きく、写真や絵などを中心に、見やすい「議会だより」を。

議会報告会をやっていることのPRを、もっとした方がよい。

議会だよりの閲読率を上げるために、駅などに置いたらどうか。

ミニ集会単位で、公民館で行ってはどうか。開催する曜日・時間も検討しては？

## 意見交換会での 皆さまの声

(議会だより・議会報告会について)



視察に行って、今後大野城市にどのように生かしていくのか、議員の方々の意見・思いを聞きたかった。

今回のように、テーブルで議員と直接意見交換を行うのは良いことだ。年1回ではなく、もっと報告会の回数を増やしてほしい。

選挙も18歳からとなるので、若い人を対象にしたことも考えてはどうか。

くるま座になって意見交換を行う対話形式は、必要だと思う。


難しい文言は、「語句の意味」を掲載してほしい。

携帯からでも議会だよりの中身がわかるように、QRコードなどで進めるようにしてほしい。

## 自由記載欄の意見

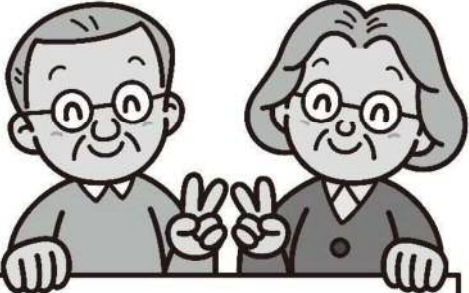
市民への情報発信は必要です。いろんなツールを使って、情報発信をしてください。

報告内容が事前にわかっているならば、その分野に興味がある市民をもっと呼べるのでは？




初めて参加しました。市民に開かれた議会を目指して、努力されていることはわかりました。今後とも、わかりやすい内容で情報発信されるよう期待します。

パワーポイントを使った説明が、とてもわかりやすかった。議員を身近に感じることができる報告会で、とても良かったです。議会への関心が高まりました。



以前に比べると、かなり市民に近い議員さんになっていると思います。

詳しく聞きたい話もあるが、さわりだけの報告になるのはもったいないです。



意見交換の場は、前進の取り組みと思います。

# 議会報告会を終えて

報告会においていただいた参加者の意見をもとに、議員全員で内容を共有し、今後検討すべき意見は何かについて話し合いを行いました。  
その中で取り上げられた意見（一部）を紹介します。

## 議会の情報発信（議会だより・ホームページ）について

- ★ 子どもでもわかる議会だよりづくり。
- ★ 議会だよりやホームページに市民を参画させてはどうか。
- ★ 議会だよりで、議員が行う質問部分を多くする。
- ★ 議会だよりが堅い。子ども向けのページやわかりやすい記事の掲載。漫画や年金などの興味のあるテーマを特集で取り上げる。
- ★ 意見書など出した後にどうなっていたかを取り上げる。

## 議会報告会について

- ★ 議会報告会を各区で行いグループに分けて、テーマを決めて行う。
- ★ 議会報告会の報告内容の見直し。視察報告より所管事務調査報告。
- ★ 27区を2年間かけて開催する。昼夜土日開催する。
- ★ 議会報告会を議場でやれないか。
- ★ 若い世代の方が参加できるように託児を設ける。
- ★ 議会報告会の名称を変えて硬いイメージを払拭する。
- ★ 議会報告会のあり方の検討。公民館開催や開催時間を柔軟に対応。
- ★ 市民の声を聞く議会報告会にする。

### 5つのグループに分かれて検討しました



議会だより、ホームページは、  
広報委員会で改善に取り組んで  
いきます。

議会報告会については、来年度  
の報告会に少しでも反映できる  
ように努力いたします。

# 12月定例会

平成27年12月定例会を

12月1日(火)から12月17日(木)まで開催

11の案件を審議し、全て可決・承認。報告が1件。

11名の議員が一般質問。

## 審議結果一覧

平成27年 第5回 12月定例会

議案番号	件名	本会議結果	付託委員会
第71号議案	大野城市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	全会一致 可決	総務企画委員会
第72号議案	大野城市税条例等の一部を改正する条例の制定について	//	//
第73号議案	筑紫地区介護認定審査会事業特別会計条例を廃止する条例の制定について	//	福祉文教委員会
第74号議案	指定管理者の指定について(大野城市高齢者生きがい創造センター)	//	//
第75号議案	指定管理者の指定について(大野城まどかぴあ)	//	総務企画委員会
第76号議案	平成27年度大野城市一般会計補正予算(第4号)について	賛成多数 可決 (賛成16・反対3)	予算委員会
第77号議案	平成27年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	全会一致 可決	//
第78号議案	平成27年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	//	//
第79号議案	平成27年度大野城市水道事業会計補正予算(第2号)について	//	//
第80号議案	平成27年度大野城市下水道事業会計補正予算(第2号)について	//	//
報告第18号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	—
	議員の派遣について	承認	—

## — 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

陳情第3号	高齢者の安全と安心と生きがいを持てる居場所が必要とする、に関する陳情書
陳情第4号	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情

## 賛否の分かれた議案(平成27年第5回12月定例会)

会派名	改革フォーラム					自民大野城					公明党			自民まどか			会派に所属していない議員			
議員氏名	松崎 正和	関岡 俊実	松田 美由紀	福澤 信光	松崎 百合子	天野 嘉久孝	山上 高昭	森 和也	井福 大昌	中村 真一	井上 正則	白石 重成	河村 康之	大塚 みどり	高山 やす子	田中 健一	平井 信太郎	関井 利夫	清水 純子	松下 真一
第76号議案	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●

(○：賛成、●：反対、-：議長は表決に加わらないため)

# 議会を傍聴してみよう

どこに行けばいいんだろう？  
どんな手続が必要なのかな？



### 本会議

市役所5階の傍聴席入口で受付票に所定の事項を記入し、傍聴してください。定員は72名です。

### 委員会

市役所本館4階議会事務局で、開催当日の8時30分から委員会が始まる10分前までに委員会傍聴票に所定の事項を記入し、申し込んでください。定員は先着6名です。委員会協議会などの傍聴はできません。

※次期議会の日程(予定)は、議会だより(裏表紙)や市議会ホームページで確認できます。  
傍聴に関する質問などは、議会事務局までお問い合わせ下さい。  
大野城市議会事務局(092)580-1938【ダイヤルイン】

### ◆ 議会の動き ◆

10月16日	福岡県市議会議長会(福岡市)
10月21日	福岡県中部十市議会議長会
10月22日	正副議長研修(山口県)
11月10日	議会運営委員会 会派代表者会議 議会報告会
11月11日	(南)コミュニケーションセンター 議会報告会
11月16日	(中央)コミュニケーションセンター 会派代表者会議 議会報告会
11月24日	(東)コミュニケーションセンター 議会運営委員会 議会報告会
12月1日	本会議(初日) 会派代表者会議 広報委員会 本会議(2日目、質疑)
12月4日	総務企画委員会 本会議(3日目、一般質問)
12月7日	福祉文教委員会 予算委員会
12月8日	本会議(4日目、一般質問)
12月10日	議会運営委員会 広報委員会
12月17日	議会運営委員会 本会議(最終日)
12月18日	全員協議会 広報委員会 広報委員会
12月27日	福岡県中部十市議会議長会 議員研修会(朝倉市)

# 委員会報告

～主な審査内容～

## 総務企画委員会

### 第71号議案

「大野城市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の制定について」

Q 福祉教育等の面で申請手続を行う際、身辺調査、資産調査等をして構わないという同意事項があるが、それをマイナンバーを利用して行うのか

A マイナンバーを利用することにより、申請時における所得証明やその他情報など、個人を特定しやすくなる。また、情報提供ネットワークが使えるようになれば、他市町村から前住所地の証明を取りに行く事が不要になると想定している。

### 第72号議案

「大野城市税条例等の一部を改正する条例の制定について」

Q 今回改正された徴収の猶予は申請をすることが条件になっているが、申請と今までの納付相談の違いは

A 法定内の徴収猶予が適用できるかどうかというのは、納付相談を受け申請書を提出してもらい判定することになる。納付相談のやり方については、従来通りで変わらない。

### 第75号議案

「指定管理者の指定について（大野城まどかびあ）」

Q 指定管理者制度の趣旨は、住民サービスの向上と経費の節減だが、従前の直営時と比べ、大野城まどかびあの経費効率化はどうか

A 大野城まどかびあの管理については、指定管理者制度導入以前から管理の委託形式をとっていたため経費節減効果はあまり出ていない。

しかし、市民サービスの面では指定管理者の権限範囲が委託時より広がっているため、スピード感を持った対応など、市民サービスの向上効果は相当あったと思う。

## 福祉文教委員会

### 第73号議案

「筑紫地区介護認定審査会事業特別会計条例を廃止する条例の制定について」

Q 筑紫地区4市1町で共同設置している事務局の運営は、各市町2年ごとの輪番制になっているが、輪番制の決め方はどのようになっているのか

A 輪番の順番は決定している。平成25、26年が大野城市、平成27、28年は太宰府市、その次が那珂川町、春日市、筑紫野市となっている。

Q 平成25、26年度は本市が事務局であるが、本議案の提出が平成27年12月議会では遅いのではないかと、なぜ12月議会になったのか

A 認定審査会の事業は、平成26年度事業の決算の確定は9月であるが、その後平成27年度予算で各市町の負担金の精算事務を行うため、事務の終了を待って12月議会に提出した。

### 第74号議案

「指定管理者の指定について（大野城市高齢者生きがい創造センター）」

Q シルバー人材センターの登録者数は

A 平成26年度末の登録者数は、男性280名、女性133名、合計413名。

Q シルバー人材センターの仕事の種類及び1カ月当たりの収入はいくらか

A 仕事の種類は中長期計画に基づき、地区により内容が異なるが、企業を中心に定期清掃や倉庫整理、除草、買い物支援や家事援助、子育て支援、市全域では、刃物研ぎやエアコンの清掃、植木の剪定、ふすま、障子の張り替えなどがある。

収入は生きがい対策という側面から、月収で約2万5000円である。

Q サービスを受注してくる営業担当者の配置等は

A 現在、職員が行っているが、その強化については働きかけていく。



# 予 算 委 員 会

## 第 76 号議案

「平成 27 年度大野城市一般会計補正予算（第 4 号）について」

（補正前の額） （12月補正額） （補正後の予算額）  
325億2607万円 + 6億6645万円 = 331億9252万円

Q （仮称）大野城心のふるさと館整備事業の建設関連費用（総額：23 億 5086 万円）の継続費は確定額であるのか。変更が生じた場合はどうするのか

A 総額は確定額である。変更せざるを得ないような状況が発生した場合には、継続費の補正という形で、議会に総額あるいは年割額の変更の提案をする。

### ※継続費とは

地方自治法第 212 条により、履行に数年度を要するものについては、予算の定めるところにより、その経費の総額及び年割額を定め、数年度にわたって支出することができるもの。

Q 新制度に移行した幼稚園及び認定こども園が実施する一時預かり事業における助成金の内容は

A 本市の児童が各園の一時預かり事業を利用した場合に、当該園に対して経費の一部として児童 1 人当たり 1 日 500 円程度を補助する。



Q 学級運営サポートティーチャー5人と介助員3人の増員について、どのように確保したのか

A 臨時職員登録の随時募集を行った。

※学級運営サポートティーチャーとは通常学級における集団指導が困難な児童・生徒がいる学校に派遣される補助教員

※障がい児童・生徒介助員とは学校生活において特別に介助が必要な児童・生徒に対して日常的に介助を行うことにより、特別支援教育の充実を図るために配置される人

Q 高齢者のインフルエンザ予防接種におけるワクチン価格値上げに伴い委託料に不足が生じるが、個人負担額に変更はあるのか

A 個人の負担額についても、昨年までは1000円だったが、1500円に値上げした。



Q （仮称）善一田古墳公園保存整備事業に係る用地取得を前倒し実施するというが、乙金第二土地区画整理地区内における善一田古墳公園用地の部分の宅地の面積、戸数、人口はどのくらい減るのか

A 面積は約9000㎡、計画当初に設定していた1画地当たり250㎡で割ると36戸、1戸当たり2.6人を乗ざると、約90人の人口が減るという試算になる。

- 11月13日 ☆ 放課後子ども教室について 鹿児島県日置市
- 10月27日 ☆ コールセンターについて 神奈川県大和市
- 10月21日 ☆ 学校施設・小学校プールの開放について 東京都渋谷区
- 10月14日 ☆ コミュニティバスまどか号について 愛知県江南市
- 11月10日 ☆ 総合窓口ワンストップサービスについて 石川県かほく市
- 11月9日 ☆ 教育サポートセンターについて 宮城県塩竈市
- 10月23日 ☆ おおのじょうまちなかわくわくパビリオンについて 北海道北広島市
- 11月27日 ☆ 鹿児島県出水市
- 11月23日 ☆ 東京都小平市
- 11月19日 ☆ 香川県観音寺市
- 10月15日 ☆ 愛知県清須市
- 10月20日 ☆ 北海道網走市

視察来庁

# 一般質問 ～ これからの大野城を問う ～

注：★がついている内容を掲載しています。なお、各議員の最後にあるQRコードから映像を見ることができます。

大塚みどり	<ul style="list-style-type: none"> <li>★健康づくりを支え合うまちづくりについて</li> <li>●高齢者の暮らしを豊かに支える地域福祉について</li> </ul>	平井信太郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>★聴覚障がい者に対する意思疎通支援事業の活性化について</li> <li>●公共施設の利用状況について</li> </ul>
森 和也	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災・防犯（安全安心のまちづくり施策）について</li> <li>★大野城市社会福祉協議会への助成について</li> </ul>	井福 大昌	<ul style="list-style-type: none"> <li>★西鉄天神大牟田線連続立体交差事業の進捗状況と高架下の有効利用について</li> </ul>
山上 高昭	<ul style="list-style-type: none"> <li>★歩道へのベンチ等の設置について</li> </ul>	松崎百合子	<ul style="list-style-type: none"> <li>★若者の雇用と労働教育について</li> <li>●男女共同参画社会の推進について</li> <li>●性暴力の防止について</li> </ul>
松下 真一	<ul style="list-style-type: none"> <li>★市民生活の支援施策について</li> </ul>	清水 純子	<ul style="list-style-type: none"> <li>★マイナンバー（社会保障制度・税番号）制度について</li> </ul>
河村 康之	<ul style="list-style-type: none"> <li>★認知症の対策について</li> <li>●障がい者の地域生活支援事業について</li> </ul>	松田美由紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>★自転車の交通安全対策の強化について</li> <li>●妊産婦の歯科検診及び保健指導について</li> <li>●子どもの貧困に対する対策計画について</li> </ul>
松崎 正和	<ul style="list-style-type: none"> <li>●（仮称）大野城心のふるさと館建設の市民報告会について</li> <li>★おおの山城大文字まつりで上演された「大野城物語特別公演」について</li> </ul>		

## 健康づくりを支え合うまちづくりについて

大塚みどり



**問** 本市で実施する特定検診やがん検診の受診率向上の取り組み体制は

ながん対策の推進が図られるため、国や県を参考として関連性を研究したいと思っています。

**答** 未受診者への郵送による個別通知及び電話による受診勧奨、福岡県国民健康保険団体連合会との共同事業で、特定健診と人間ドッグとの同時実施を行っている。昨年度は104人のデータを人間ドッグ受診者から取得し、受診率向上につながっている。また、実施医療機関数を増やし、職場等で受診した人に対して、受診結果提出を促している。がん検診は、過去に無料クーポン券を使用した市民に、集団検診の受診勧奨はがきを送付している。

**問** 40歳から50歳代の罹患状況から特定健診を受診したくなる検診の充実は

健診料の見直しについては、現在のところは考えていないが、今後他市町の動向も注視しながら研究していきたいと考えている。また、ピロリ菌のABCリスク検診の導入については、現在のところ考えていない。研究結果や国の動向を注視していきたいと考えている。

**問** 全国的生活習慣病やがんの罹患状況と比較した場合、本市の健康診査やがん検診の受診率と生存率の関連性の調査はしているのか

**答** 本市独自では把握していない。平成28年1月から、がん登録等の推進に関する法律により、全国がん登録が始まり、より正確



▲映像はこちら

## 大野城市社会福祉協議会への 助成について

森 和也



**問** 社会福祉協議会（社協）が行っている障がい者や高齢者などの支援事業に対しボランティアスタッフが安心して参加できるよう助成金を支給することはできないか

**答** 社協が実施する支援事業に参加するボランティアについては、大野城市地域福祉活動におけるボランティアエントリーステムの構築、ボランティア活動メニューの策定など、ボランティアが参加しやすい仕組みづくりを検討することとしており、参加負担金などの必要経費に対する助成については、今後社協と調査・研究したい。

**問** 社協が行なっている「ふれあいの旅」事業は、今回ボランティアが5千円、ハンデをお持ちの方が1万5千円の参加費を負担した。この事業に対して、ハンデをお持ちの方がより参加しやすい状況を確認するため、市から社協へ助成はできないか



夜の宴の様子



円作りの様子

施されており、地域福祉の推進に有益な事業であると認識している。本事業は、社協の自主事業として実施され、事業の内容や財源となっている赤い羽根共同募金の配分など、他の事業との公平性を考慮して計画的に実施されているものであり、社協の考えを尊重して実施していくことが今後も事業を継続していく上で大切なことであると考えている。市と社協は、より連携を深めながら、ともに地域福祉の推進に努めたい。



▲映像はこちら

## 腰を掛ける所があったら、 安心して歩けるよ

山上高昭



**問** 歩道へのベンチ等の設置について。ベンチ（簡易な腰掛け）等の設置ができないか

**答** 道路管理者としての見解を答えると、道路整備の中で、ベンチ等の設置は道路構造令と照らし合わせると、現状では難しい面がある。しかし、今後は便利で快適なまちを目指し、バリアフリー化を推進していくため、道路全体を見て検討することも必要であると考えている。

大野城トレイルは、市内に存在する地域資源と駅やコミュニティセンターとの拠点を結び、歩きながら楽しむことができる散策路であり、フルートを設定している。今年度から3カ年で総合サインや誘導サイン等を整備する計画であるが、ベンチ等の設置についての計画はない。しかし、今後は拠点間の距離や必要なスペースの有無及びトレイルの利用状況やニーズ等を見ながら検討したいと考えている。



▲映像はこちら

今年度、南地区コミュニティ運営委員会と市との共働により高齢者支援事業を開始しており、具体的な事業については実行委員会形式で検討を進めている。徒歩で外出する際、途中で休憩ができるミニベンチやポケットパークなどの設置についても必要性を感じているが、まずは先進地の事例を調査・研究し、今後の検討課題としたい。

## 市民生活の支援策について

松下 真一



**問** 教育サポートセンターの目的とは

**答** 関係機関と連携及び協働して学校でのいじめ、不登校、特別教育支援、非行児童生徒の課題や問題の解消や予防を図るため、事実確認を慎重に行い、問題点や課題を明確にして対応プログラムを実施するのが目的。

**問** 生活困窮者自立支援制度の基本理念は何か

**答** 生活保護に至る可能性があり、自立の可能性が見込まれる方の相談や支援の強化を行い、生活困窮から脱却してもらうこと。そのため生活全般の包括的支援を実施し、仕事や住まい等の複雑化、深刻化した課題や、破綻の危険がある暮らしの相談を受け、自立を助ける役割を担うこと。

**問** 大野城市がターナーやウターンするまちとして発展するための条件とは何か

**答** 大野城市を知らなかった人が結婚や転職・就職などの機会に転

居し、また生まれ育った人が転出して再びふるさと大野城市に戻ってきたと思うてもらえるような市独自の魅力づくりが不可欠である。大都市からの移住者を呼び込むためには、雇用創出や就労支援、また、きめ細やかな子育て支援や住環境の整備など、住みよいまちづくりを積極的にアピールできる定住化施策や支援も必須である。今後効果的な施策について検討し推進していきたいと考えている。



▲映像はこちら

## 認知症の取り組みと今後の学校教育について

河村 康之



**問** 本市における認知症の人数は

**答** 厚生労働省の推計速報値（有病率）に基づき本市の人口に当てはめると、認知症有病者数約3100人、軽度認知症有病者数約2600人の計約5700人と推計される。

**問** 認知症対策の予防も含めて、具体的な取り組みは

**答** 認知症の正しい理解と適切な対応方法などを学ぶことのできる「認知症サポーター養成講座」を平成23年度から通算34回開催し、現在1221人のサポーターを登録している。今後年間300人の登録を目指す。また、「認知症行方不明者検索模擬訓練」を行っている。

**問** 「認知症行方不明者検索模擬訓練」今後の実施計画は

**答** 本年度は、下筒井区で実施し、平成28年度・29年度も「1地区」の実施と考えているが、今後地域の方と協議しながら、複数行政区、各「コミュニティ」単位での計画を予定している。

**問** 小中学校での認知症教育の実態と、今後の計画は

**答** 「認知症サポーター養成講座」は、大野南小学校6年生150名を対象に実施、他の小学校については、地域の高齢者福祉について調べたり、高齢者との交流学習を実施した。そして、認知症の正しい知識を学び、これからの高齢社会で大切な思いやりの心を育てることもつなげたい。また、来年度の教育課程編成作業に取り掛かるため、「認知症サポーター養成講座」を各学校に紹介し、カリキュラムについて研究し、実施の際には、市の関係部署と連携しながら、支援できる体制を整えていくよう検討する。



▲映像はこちら

15分で200万円、  
究極の無駄使いでは

松崎 正和



**問** おおの山城大文字まつりで上演された「大野城物語特別公演」で15分たらずの物語上演のために200万円（1分あたり13万円）の税金が使われたと聞くが事実か

**答** 花火やレーザーの費用に約120万円、照明効果を出すための追加照明等の機器に約40万円、白村江の戦いの演出のためのスモーク効果に20万円、矢を演出するために約10万円を支出している。

**問** 上演の中身も、船に乗った（船を持った）中学生たちが舞台を歩き回るばかりで、ナレーションも聞き取りにくく、主役を演じた井本市長と派手な演出だけが目立つ状況の中で、何を表現したいのか、何をやっているのか全く理解できない市民がほとんどではなかったかと思うがどうか

**答** 子どもたちが主役である。私（市長）は途中からステージに上がったが、幻想的な風景であったし、臨場感もあった。

あの大文字まつりでの大野城物語はよかったという話をする人がほとんどであった。

**問** 今回の上演が市民感覚からかけ離れた究極の無駄使いと思うがどうか

**答** まつりは生活文化や歴史、伝統を伝承する大事な場である。今年度のまつりは、今までにない一体感を持った記憶に残るすばらしい記念事業になったと考える。



タスケ  
「大野城物語 タスケ岩の伝説」の  
主人公をイメージ



▲映像はこちら

聴覚障がい者の為に  
要約筆記を普及しよう

平井 信太郎



**問** 聴覚障がい者への支援を受けられる対象者の基準及び対象者数は

**答** 基準は、市内に居住する聴覚障がい者及び言語障がい者である。対象者数は身体障害者手帳の交付を受けている人で、平成27年3月末現在で208名である。

**問** 要約筆記の普及のための資格者育成について

**答** 現状では、市としては特段の支援は行っていない。

**問** 要約筆記の普及に伴う必要機材について

**答** 現状は、要約筆記団体から市が有償で機材を借りている。今後、要約筆記者や関係団体と協議を重ねながら、機材の調達方法やそのルールづくりを行っていきたいと考えている。

**問** 要約筆記を世の中に広めるための支援は

**答** 今年度の事業実績を見た上で、要約筆記者養成講座の受講費用や、全国統一要約筆記者認定試

験の受験費用の助成制度について、平成28年度に検討する予定である。

**問** 資格者の養成に市職員が積極的に関わってはどうか

**答** 要約筆記者の養成に対する市の職員の関わりは、今後、調査・研究を進めていきたいと考えている。

**問** 意思疎通支援事業を普及していくための方策は

**答** 制度の周知、支援者の育成を、バランスよく進めていきたい。今後PRを強化し、サービスマジックの案内通知対象者の拡大等を行っていききたいと考えている。



▲映像はこちら

## 西鉄高架下事業の進捗と有効利用について

井 福 大 昌



**問** 西鉄高架下事業の進捗状況を教えてください

**答** 平成26年度末の進捗率は約50%である。

**問** 西日本鉄道株式会社（以下西鉄という）と共同した市民会議などは今後予定されているか。予定されているのであればスケジュールを教えてください

**答** 市民が参加する会議としては、基本計画案にもとづき、整備する歩道や広場の設計にあたってワークショップ等を開催し、施設を利用する皆様の意見をお聞きしたいと考えている。スケジュールとしては、平成28年度から29年度にかけて西鉄と詳細協議を行い、平成30年度以降に整備に向けた設計等の協議を行なう予定である。それらと平行して市民が参加する会議も行いたいと思っている。

**問** 西鉄は高架下の面積のうち15%の利用を市に認めているとのことだが、15%以上の要望をしていく考えはないか

**答** 利用可能面積に拘らず、西鉄、地域、市のお互いにとつて良い街にするにはどのような活用が望ましいかという前提で協議している。その結果として、市の利用面積が15%を超えた場合は、その部分の取り扱いについて西鉄と詳細協議を行うつもり。



連続立体交差のイメージ図



▲映像はこちら

## 若者の雇用と

## 労働者の権利教育について

松 崎 百合子



**問** ブラック企業問題など今日の若者の雇用状況に対する見解は

**答** ブラック企業の問題は、長時間労働やサービス残業の強要など就職難を背景に社会問題化。若者の雇用状況に大きな影響を及ぼしていると考えている。

**問** 働く人たちの権利が守られるための本市の取り組みは

**答** 労働者の人権侵害に関する相談は人権男女共同参画課、不当労働行為等の相談は福祉課で受け、福岡県労働者支援事務所等と連携して対応していく。

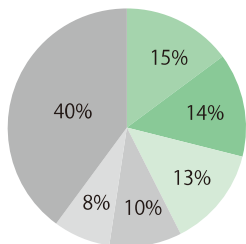
**問** 啓発や社会環境づくりは

**答** 市のホームページに福岡県労働支援事務所や労務安全情報センターなどの相談機関の連絡先等を掲載し情報提供している。

**問** 中学校での進路、職業、労働教育の取り組みの状況は

**答** 小中学校を通して一人一人の社会的そして職業的自立に向け基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育を実施。労働の権

## 福岡県の労働相談11,527件 2014年度過去最多！



- 労働契約（賃金・条件等）1708件
- 賃金・退職金 1627件
- 職場のいじめ・人間関係 1566件
- 労働時間、休日等 1132件
- 解雇 892件
- その他 4602件



▲映像はこちら

**問** 中学校での労働教育の実施はいかがか

**答** キャリア教育として、ご指摘の機関（県の労働政策課の出前講座）を使ってはどうか、という情報を学校の方にも知らせることでカリキュラムに活かすようにしていきたい。

## カードなくても 行政サービスは受けられます

清水 純子



**問** マイナンバー（社会保障制度・税番号）制度について、全市民が理解していると思われるか

**答** 市民の理解は、十分ではないと考えている。今後も引き続き、様々な方法で周知に努めたい。

**問** マイナンバー法による個人番号カードは、全市民が必ず申請するものなのか

**答** カードの取得は義務ではなく任意となっている。12月15日号の広報の折り込みで「個人番号カードの申請は任意です」と記載している。

**問** 番号記載がされていない税申告や給付申請書は受理するのか。行政サービスから排除されることはないのか

**答** 個人番号の記載がなくても申請書類は受理される。行政サービスが受けられなくなることはない。

**問** 顔認証システムの目的は。必ず導入すべきなのか

**答** 本人確認に利用できる公的身分



▲映像はこちら

証明書である個人番号カードの顔写真と申請者が間違いなく同一であると判別することが重要であるため、マイナンバーカードを交付するときは不適切なカード発行を防止するため導入したい。

**問** 2018年度からは預貯金の情報など個人情報の一元管理化される予定だが、情報管理は万全か

**答** 個人番号カードは、所有者本人が暗証番号を設定し、他人が使うことのないよう慎重に管理する必要がある。もしカードを紛失したときは、電話連絡などにより個人番号カードの利用を停止することができ、インターネットでの成り済まし利用を防止することができる仕組みになっている。

## 自転車教室の充実・拡充と 保険の普及促進を

松田 美由紀



**問** 道路交通法改正にともなう交通安全教育実施状況

①教育対象と教育内容について  
②保護者に対する啓発について

**答** ①市内の全小学1年生と4年生及び中学1年生に対し、交通安全全般に関する交通安全教室を各学校で実施している。小学1年生では横断歩道の渡り方や交通ルール、小学4年生では自転車の乗り方や実技指導、中学1年生では講義形式で自転車の正しい乗り方について指導している。大野城市交通安全指導委員会や春日警察署、自動車学校の協力により実施。②交通安全教室の実施時に、自転車の交通ルール等のパンフレットを児童・生徒に配布し、パンフレットには自転車安全利用五則や交差点での通行方法、自転車点検、自転車保険などを掲載している。

安全県民運動期間中に自転車安全利用街頭キャンペーンを実施している。

**問** 自転車保険の加入率について

**答** 現時点で把握できていない。公益財団法人日本サイクリング協会の分析では自転車所有者の2割程度であり、本市でも同等の加入率と想定している。

**問** 自転車保険加入を義務化した条例に対する本市の考えは

**答** 現時点では、条例での義務化の予定はない。



▲映像はこちら

# 議会のここが知りたい

〔質問〕市議会議員の身分は、どういうものですか。

〔回答〕市議会議員は、非常勤の特別職地方公務員です。

〔質問〕どんな委員会があるのですか。

〔回答〕常任委員会には、総務企画委員会、福祉文教委員会、都市環境委員会と予算委員会があります。特別委員会として決算特別委員会、そのほか広報委員会があります。

〔質問〕総務企画・福祉文教・都市環境委員会は、どのようなことをしているのですか。

〔回答〕総務企画委員会は企画政策部・総務部・地域創造部及び出納室並びに監査委員・選挙管理委員会及び農業委員会を所管、福祉文教委員会はこども部・長寿社会部・市民福祉部・教育部を所管、都市環境委員会は危機管理部・建設環境部及び上下水道局を所管し、その部門に属する事務の調査及び議案、請願等の審査を行っています。



おがさわら りょうこ  
小笠原 涼子 さん

〔質問〕予算・決算特別・広報委員会はどのようなことをしているのですか。

〔回答〕予算委員会は市の予算を審査、決算特別委員会は、決算を審査・認定します。

広報委員会は、年4回発行している「議会だより」を作成しています。また、大野城市ホームページの更新や、議会の映像配信を行っています。

## 委員会とは

市議会でも取り扱う非常に幅広い内容（議案や請願など）を専門的、能率的に審査・調査するために、いくつかの部門に分けた審査機関。

## 平成28年第1回3月定例会(予定)

- 2月23日(火)10:00～ 本会議 提案理由説明
- 3月2日(水) 9:30～ 本会議 代表質問・質疑・付託  
13:30～ 各常任委員会 9日迄
- 11日(金) 9:30～ 本会議 一般質問
- 14日(月) 9:30～ 本会議 一般質問
- 18日(金)10:00～ 本会議 報告・討論・採決

本会議・各委員会は傍聴できます。  
みなさまの傍聴をお待ちしています。

あんな

プロ野球のキャンプが始まり、春の足音が聞こえてくる季節になりました。昨年の福岡のプロスポーツは、ホークスの2年連続の日本一、アビスパ福岡が念願のJ1復帰とフアンにとっては嬉しい年になりました。特にアビスパは、井原正巳監督に代わり1年目でJ1昇格を果たしました。

井原監督の現役時代は、「アジアの壁」と言われた守備の要で、アビスパの選手達に井原イズムが浸透し、敵に点を与えない戦い方が功を奏しました。

—さあ、来月からはオープン戦、そしてベナントレースが始まります。我々がホークスの3連覇、そしてアビスパのJ1優勝を祈念して、皆で応援しましょう！

(S・H)